

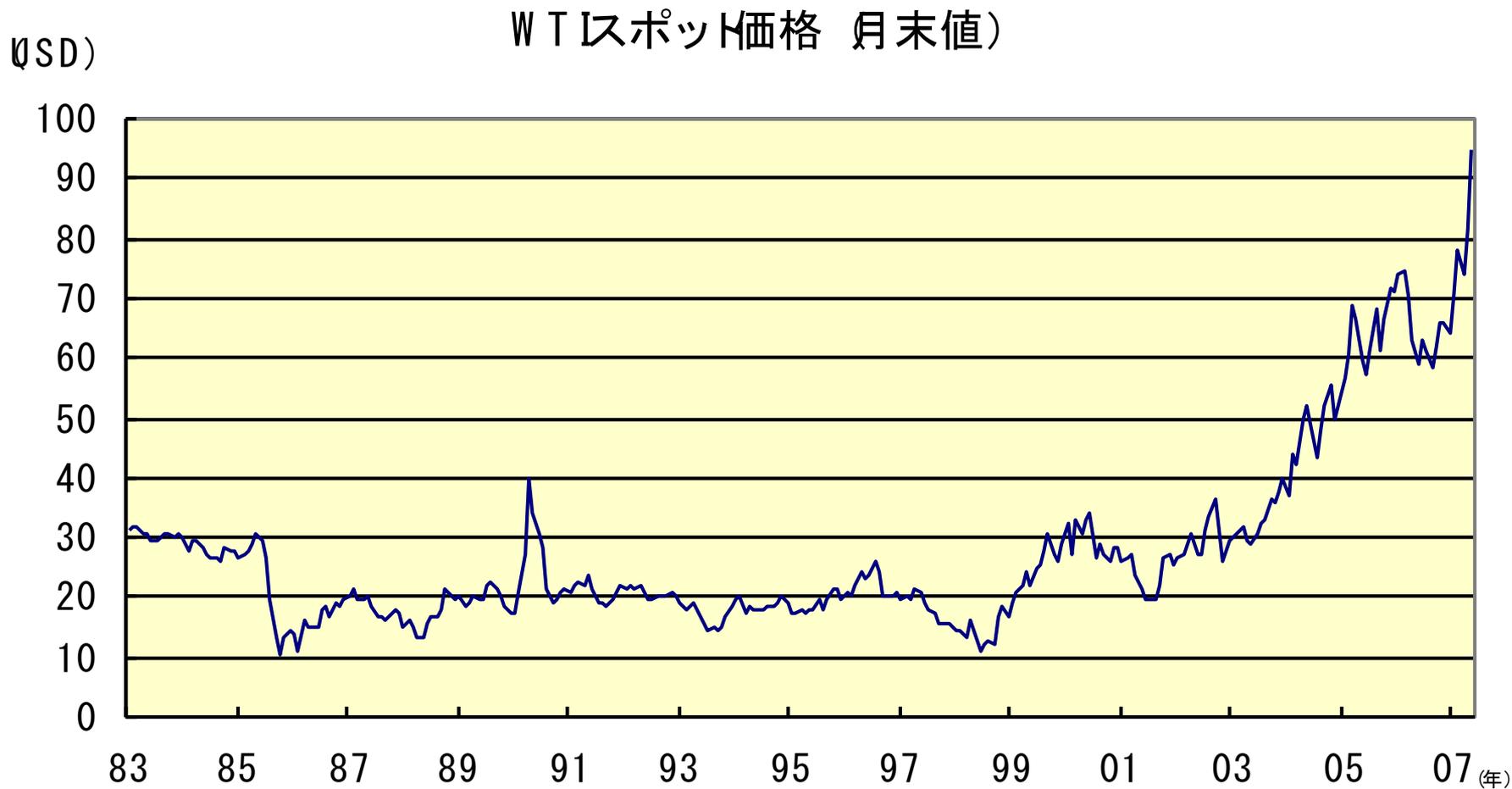
米中経済同盟の時代と日本の進路



シンクタンク 山崎養世事務所

代表 山崎養世

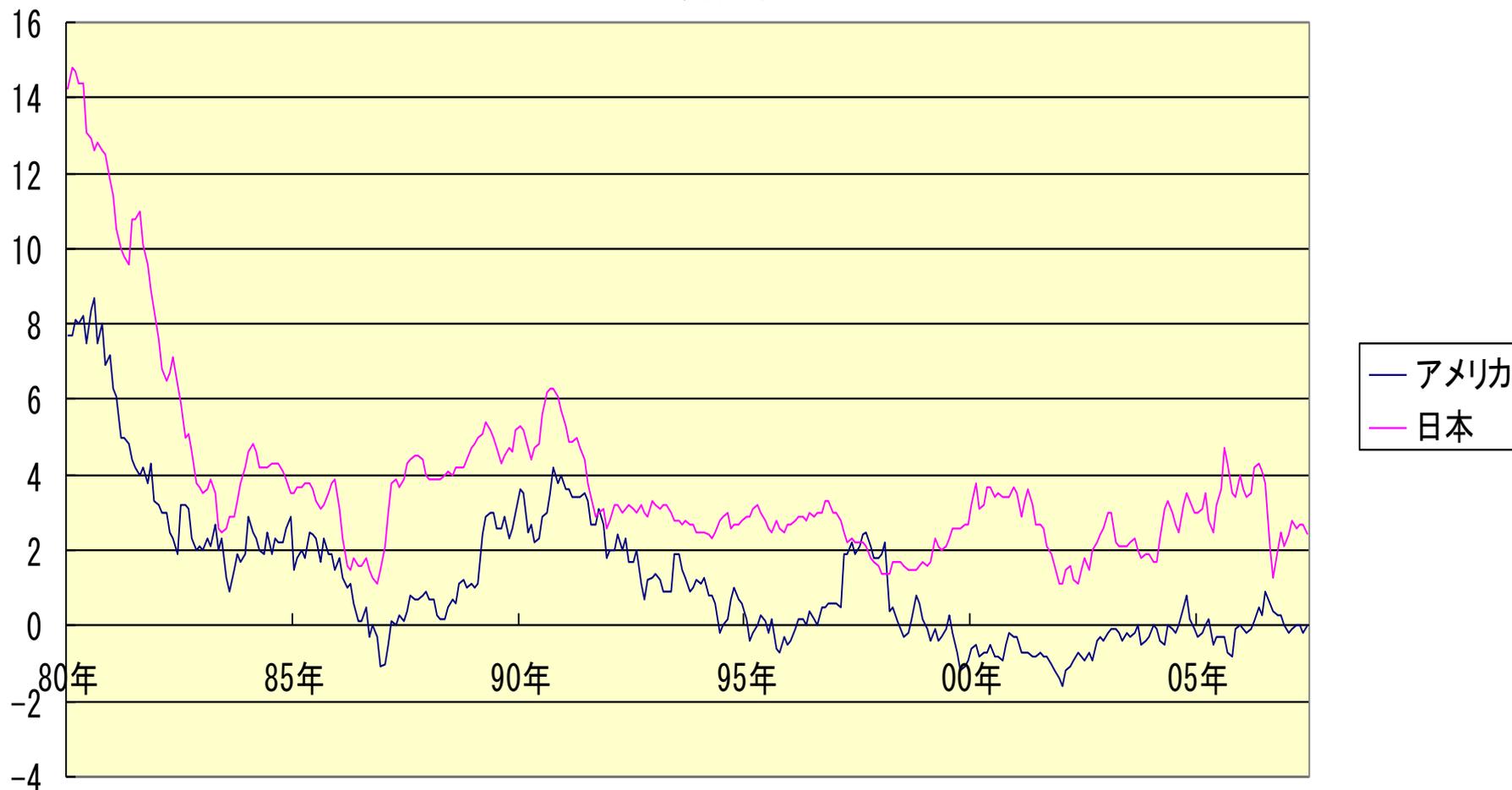
石油ショックが起きない世界～石油価格の上昇



(出所:ブルームバーグ)

インフレなき世界～日米の物価上昇率の推移

消費者物価指数



石油と株の同時上昇 ～80年以降の株価の推移(アメリカ)

ダウ工業株 30種平均

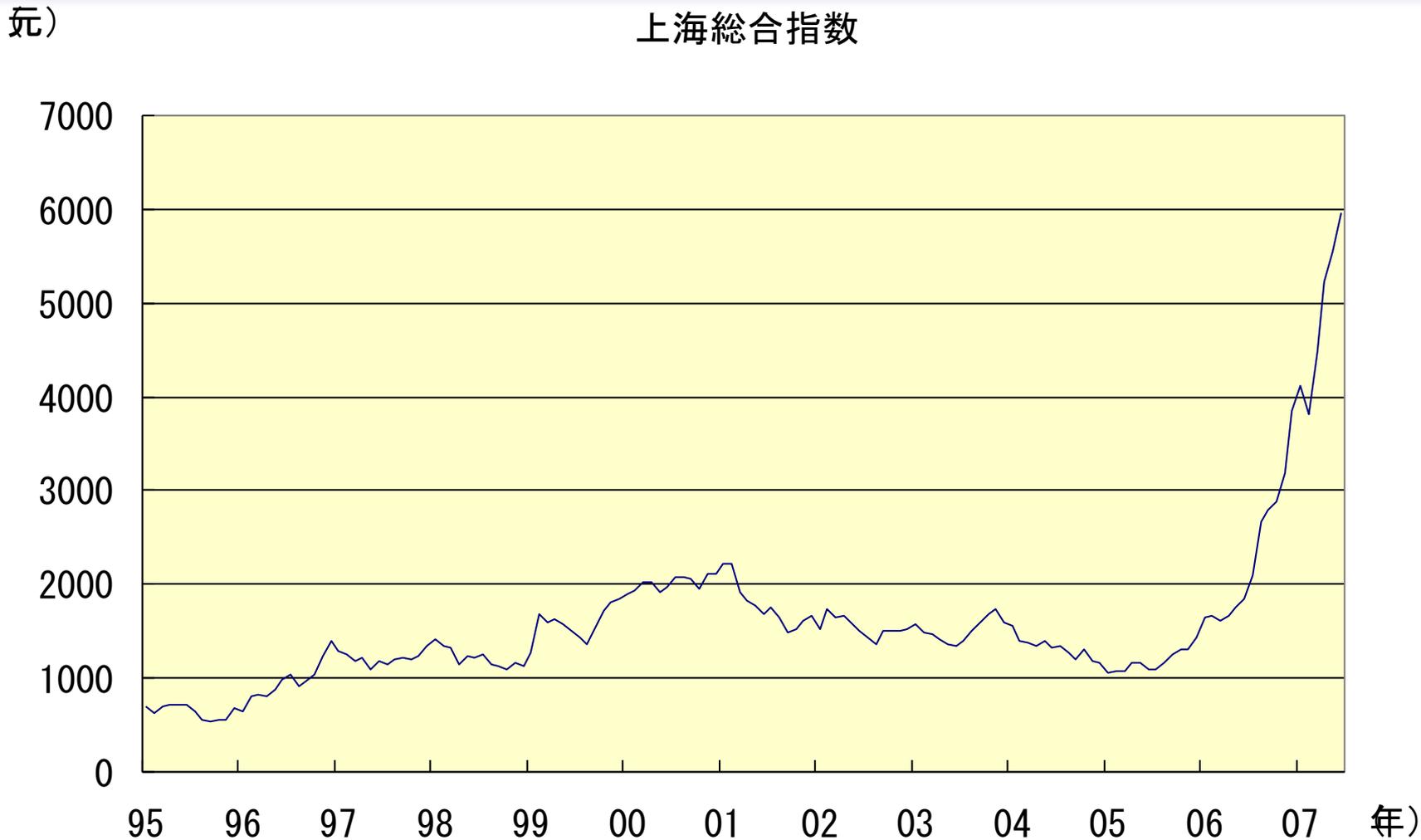
(USD)



(出所)ブルームバーグ

シンクタンク山崎養世事務所

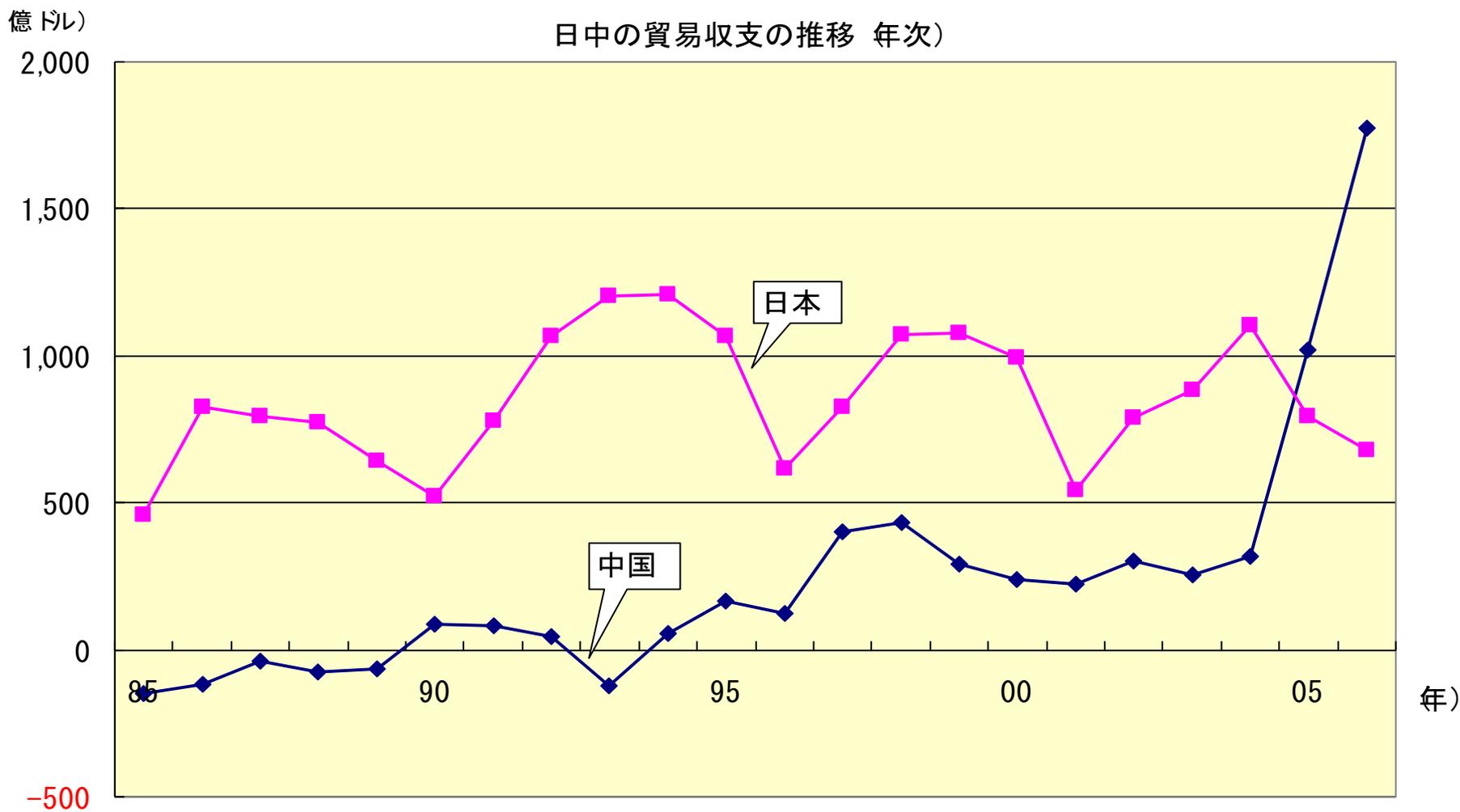
急上昇する中国株式 ～95年以降の株価の推移



低迷から脱しない日本株 ～80年以降株価の推移



日中の貿易収支の推移

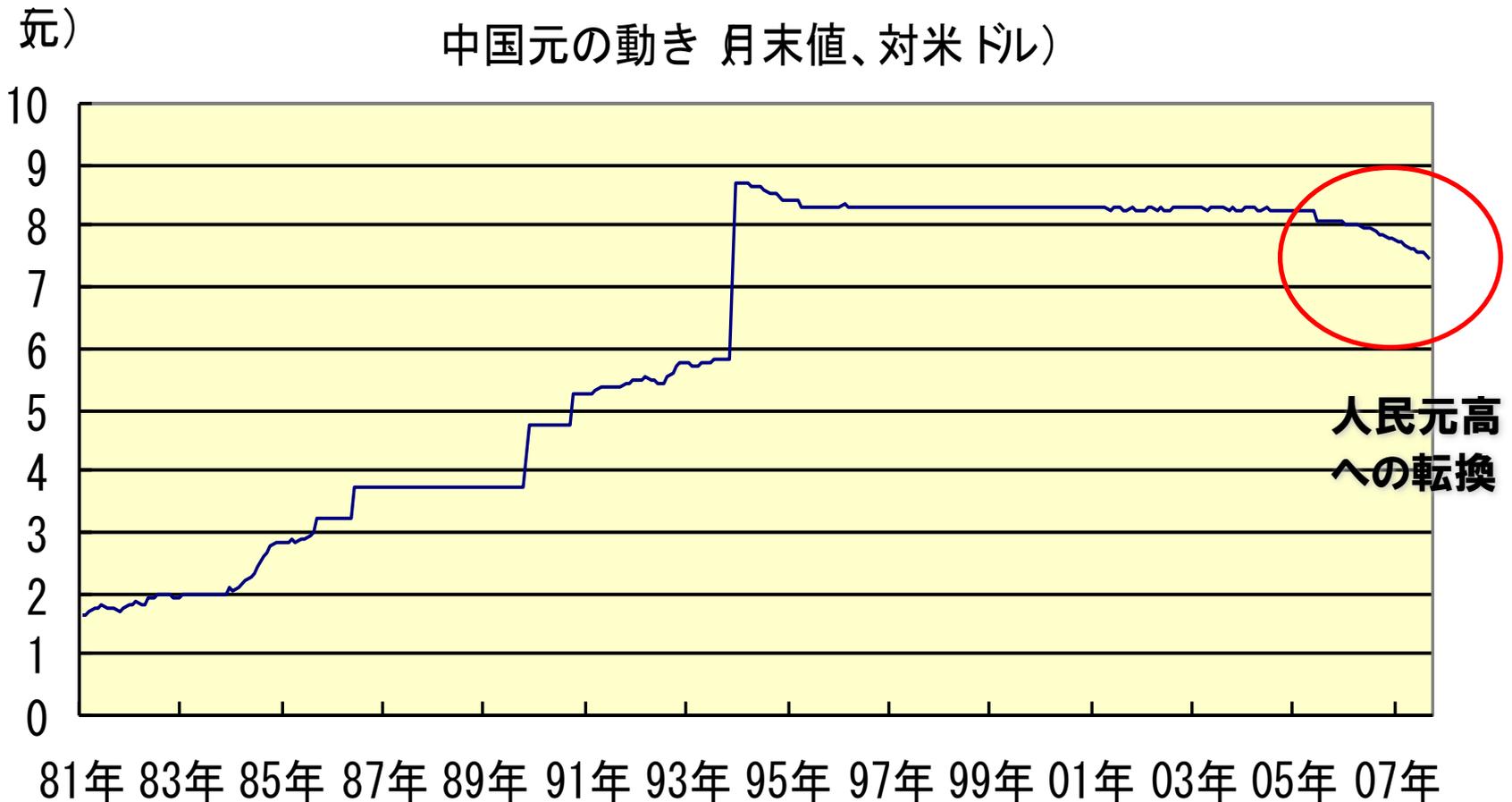


(出所)財務省「貿易統計」、中国統計年鑑など

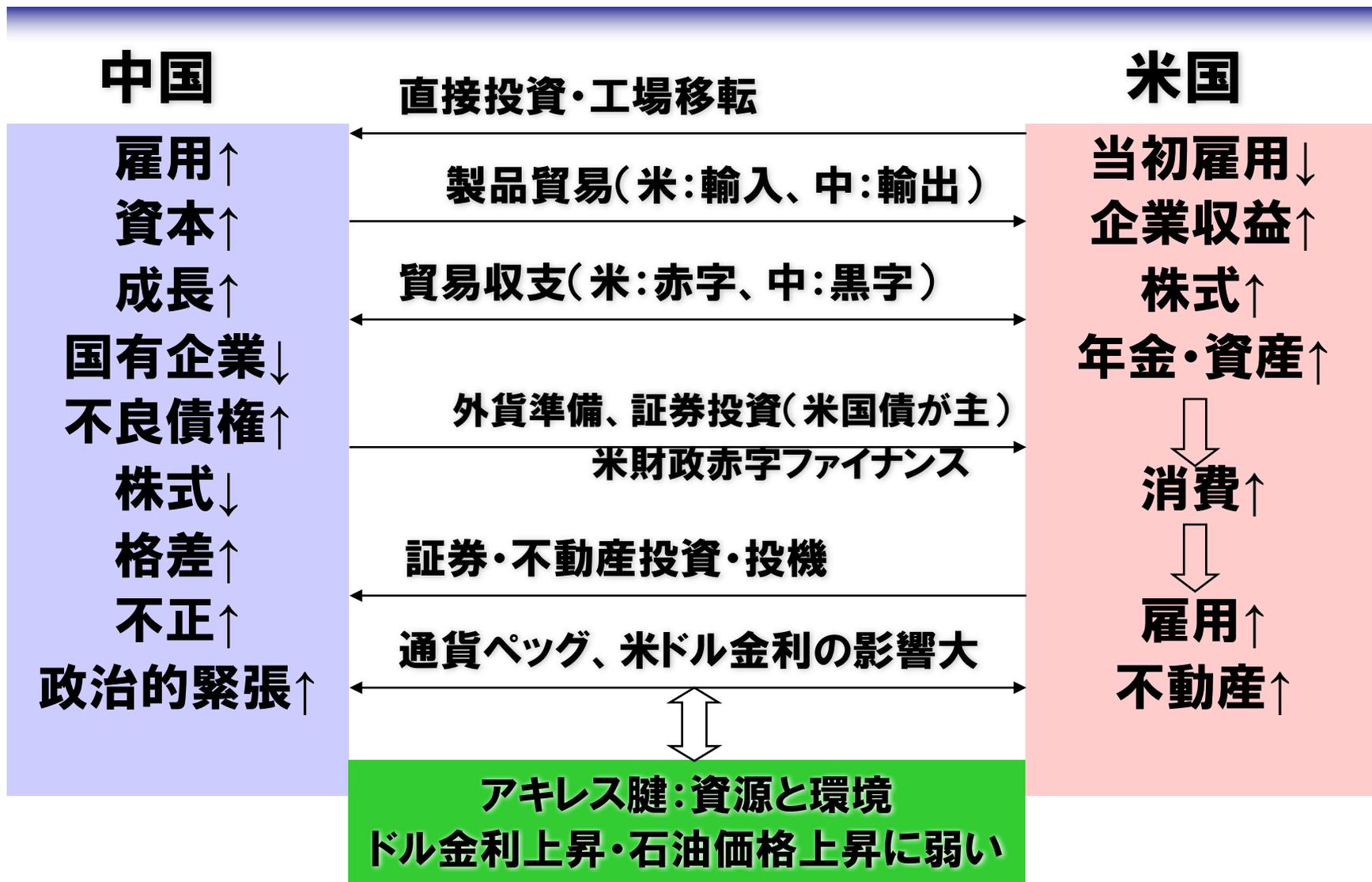
上昇を続けた円～日本の為替(対米ドル)



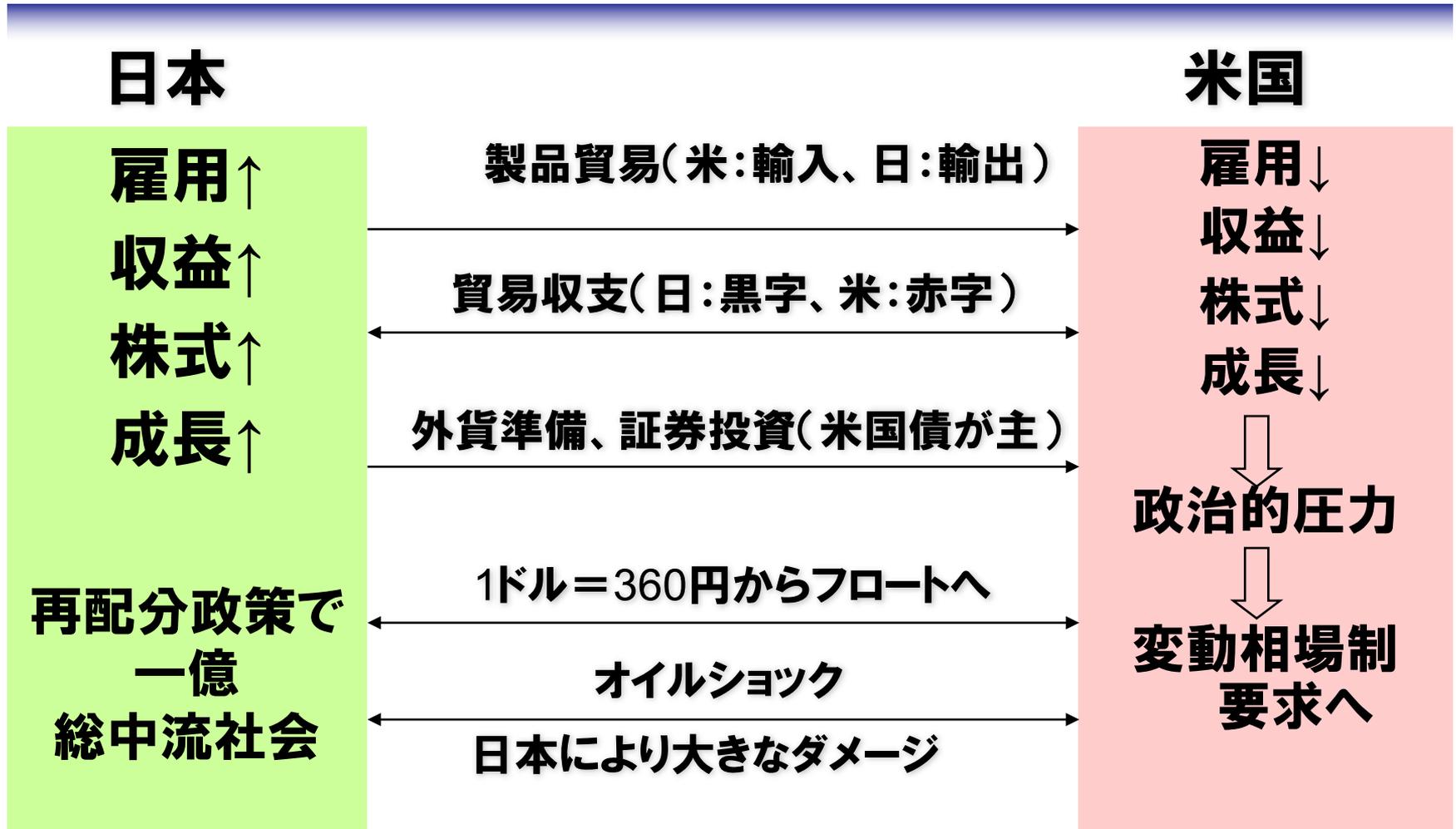
長期低落傾向にあった人民元 ～中国の為替(対米ドル)



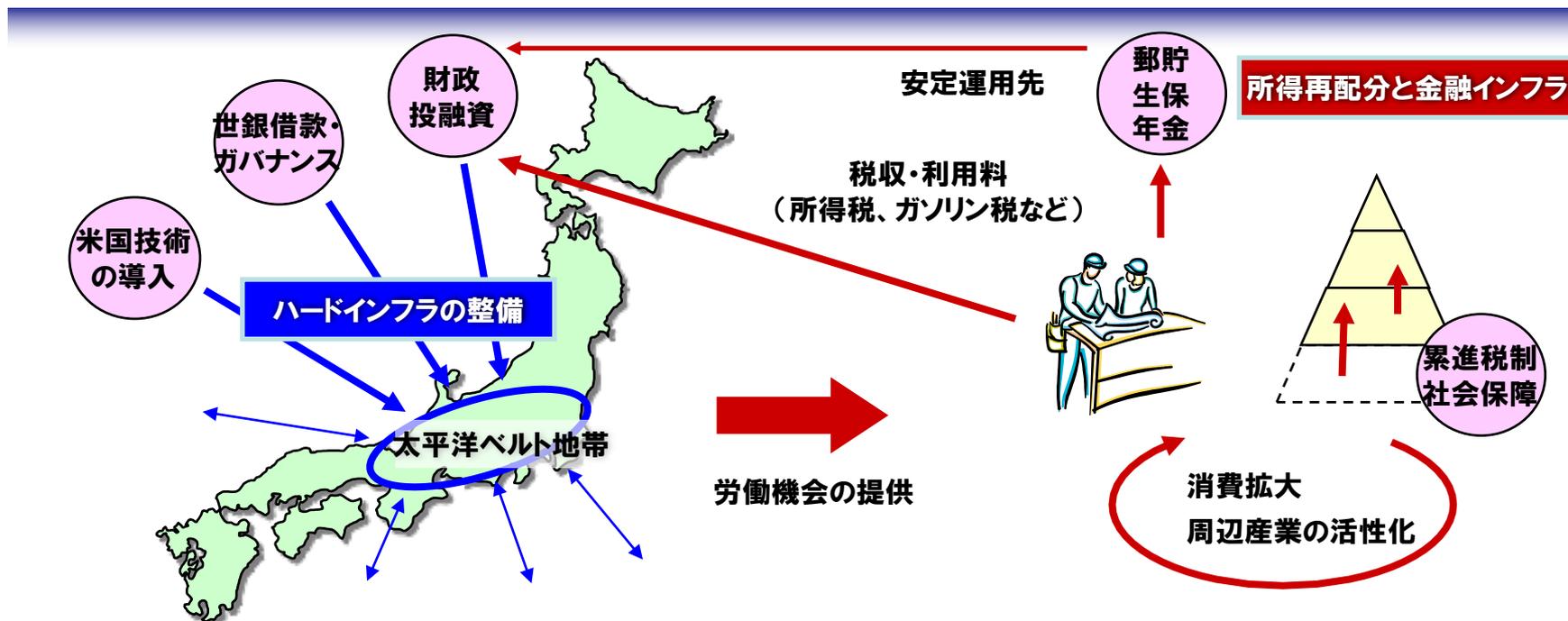
米中経済同盟の構造～チャンスとパラドックス



(参考)70年代の日米関係



日本の成長を支えた基本スキーム



1 ハード面のインフラ整備

- ・鉄道網などの既存インフラに加えて高速道路・新幹線で復興を加速
 - － 復興途上国であったため、米国の技術導入と世銀借款

・太平洋ベルト地帯を中心に加工貿易で経済発展を実現。モノとヒトの移動で国内経済も活性化

2 ソフト面の社会インフラ整備

- ・同時に貯蓄、年金、医療、生保などを整備
 - － 個人所得の運用先として整備し、次の投資財源に活用

- ・個人間・地域間の所得の再配分によって社会の安定化と地方格差の是正を実現
 - － 消費拡大、周辺産業の活性化

新しい世界①

- 1. 世界同時長期成長:**
得意なもの(労働・土地・企業・技術・資源・文化)を
各国が持ち寄る世界へ
⇒ 南北格差や搾取の多くが解消
- 2. 戦争が起こせない相互依存時代に:テロは戦争ではない**
⇒ 米ソ冷戦は米中では起こりえない
⇒ アラブ産油国も消費国と相互依存
- 3. 低インフレ・低金利と世界の企業の収益の爆発的成長**
⇒ グローバル投資が圧倒的に有利
⇒ 放置すると資源浪費・環境悪化の歯止めがない
⇒ 06年から途上国通貨上昇。世界的な物価底上げ傾向

新しい世界②

4. 世界的に社会の中での格差が拡大
5. 長期にわたって工場で作られる物の価格破壊が進む：
中国、インドなどが主な市場に
6. 一方で、文化力や憧れパワーを持つものは価格上昇

日本に欠けているもの ～グローバル化とローカル化の同時達成

1. 少子高齢・人口減少の進行
⇒ 最も出生率が低い東京に集中
2. 21世紀型の企業が生まれない: 企業社会も少子高齢化
⇒ トップ50の企業のうち、30年以内に生まれたのは
わずか1社: イノベーション不足
3. コストの高い東京に大企業が集中: 内向き志向の衰退へ
⇒ トップ50の企業のうち38社(76%)
4. コストが安く、アジアに近いはずの地方が衰退

* 世界で進行したグローバル化／ローカル化と都市間競争

ーアメリカのレーガノミクス

金融、IT、航空ビッグバン→分散型経済へ

ダウ30銘柄中NYに本社を置くのは8社。新興グローバル企業はNY以外。

ー中国の改革開放と特区／役割分散と都市間競争

日本経済再生へ ～グローバル化とローカル化の最低条件

1. コスト低下

人のコストの削減には限界

大きな可能性＝不動産と交通コストの削減＝ローカル化

2. ローカル化の条件と問題点

情報 マネー 移動 税制	△：IT網はかなり発達したが、情報は国内中心で一方的
	△：VCなどは東京に偏重。大学との連携弱い
	×：交通網が極端に東京中心で高コスト
	×：自治体や特区に税の主権がない

3. グローバル化の条件と問題点

海外進出 海外投資 海外からの進出	○：トップ企業の多くは進出
	△：個人マネーはシフト。但し、日本市場は素通り
	×：アジアのトップ企業はほとんど進出してこない

グローバル化とローカル化への第一歩 ～高速道路無料化

高速道路無料化論による
移動コストの減少と地方への財源委譲

【国民】生活圏の拡大

「職・住」の都市集中の緩和

- 移動コスト(時間・費用)が下がり、住宅の安い地域へ移住促進
- 企業立地も各種コスト低下から地価の安さがクローズアップ
- 豊かな自然のある地域が身近になる(木更津、淡路、徳島など)

【企業】生活産業の活性化

「人の移動に伴う産業」活性化

- 住居－建設業、不動産業
- 生活－商業・農林漁・サービス・飲食・観光・医療・教育
- 移動－運輸、物流
(当然周辺の企業活動も活発化)

【自治体】地域の活性化

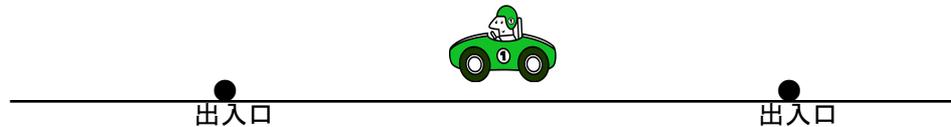
「地方分権」の実現

- 通勤・生活圏拡大
⇒人・企業の引越し
⇒新しい街／就職先増える
- 権限と財源の委譲で自治体によるの自由度・主体性の向上
(人口増による税収と財源配分)

経済成長と道路関連の効率化で
国の税収増加/財政再建

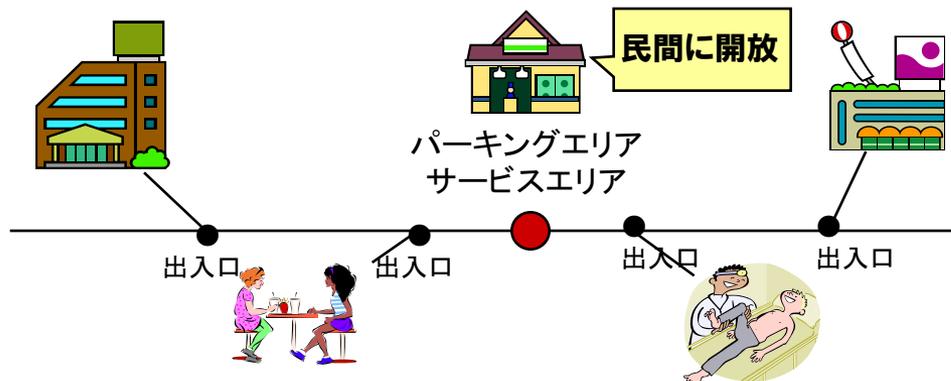
高速道路や本四架橋をタダにして生活道路にする

●今の高速道路は「新幹線」型



- 料金高い
- 途中で降りられない

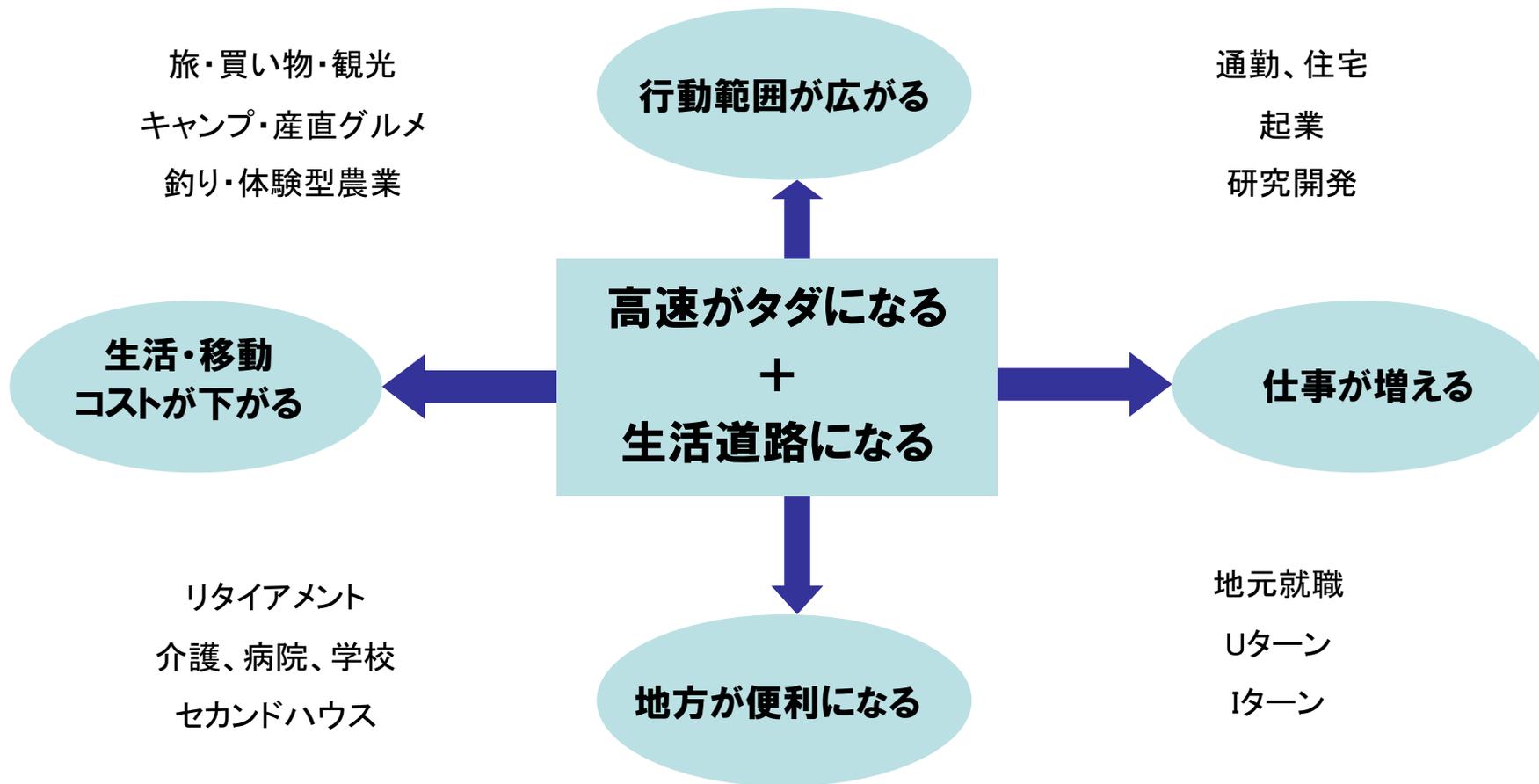
●無料＋出入口増設で高速道路は「生活道路」に



- タダ
- 出入口を大量増設
- 出入口、PA・SAが「駅前」
→ 新しい「町」づくり

今ある高速道路を有効に活用して実現できる

新しい日本



高速料金無料化を実現するには？

＝高速道路で使った税金分ぐらいは高速道路の借金返済に使うこと

いまの日本

